

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.1 * *

コウナゴは体長 19mm 主体，初漁時期は早め

－西島牧沖の漁期前調査結果－

中央水産試験場資源管理部

後志地区水産技術普及指導所岩内支所

調査の概要

平成30年4月14日の夜7～9時に、西島牧海域においてコウナゴ分布調査を行いました。白糸岬から千走沖の6つの調査点で、集魚灯に集まったコウナゴをたも網で採集しました。

なお、この調査は第八喜久丸の中山雄一さん、島牧漁協および島牧村役場の方々と共同で実施しました。調査にご協力いただいた方々にお礼申し上げます。

全調査点でコウナゴを採集

調査は強風と雨天の中で行われました。表面水温は7.6～8.5℃（平均7.9℃）で、一昨年の2016年（平均8.7℃）よりも低く、過去5年で最も低くなりました。コウナゴは6調査点のうち3点で採集され、採集尾数は、原歌沖の46尾に留まりました。

主な体長は19mm前後主体，30mm以上も2個体

採集したコウナゴの大きさを測定した結果が下図です。体長は15～35mmで、19mm前後が主体となっていました。体長14mm以下の小型群は採集されず、漁獲適正サイズの22mm以上個体の割合は約4割を占めており、大型群を対象にした操業はまもなく可能と考えられます。小型群が確認されませんでした。悪天候下での調査ということもあり、今後は初漁の漁獲サイズの状態を注視していく必要があります。

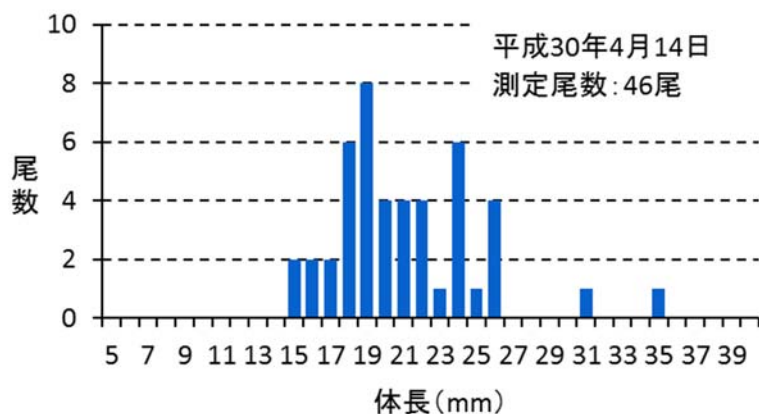


図 コウナゴの大きさ

第2報は、初漁期の漁獲物標本の測定結果についてお知らせする予定です。

お問い合わせ

中央水試資源管理部0135-23-8707

水産指導所岩内支所0135-62-0087